

# 新・田舎暮らし派、注目！ サ・ト・ヤ・マ通信

32

8年前、南房総のガーデンスタジオに建てたツリーハウスはその後、開口部を広げて通気をよくしたためか朽ちることなく、今も森を見下ろす展望ハウスとして役立っているが、風雨に晒され続け、落ち葉の色素がデッキ部に付着するなどしてさすがに汚れてきた。そこで、一念発起。デッキ部のメンテナンスを兼ねて新たに塗装することにした。

## 洗浄+サンディング+塗装で、古い板材が蘇った！ ツリーハウスのデッキ、塗装メンテナンス



下地処理後

塗装前

塗装後

まず、洗浄&サンディングをしっかりと

ガーデンスタジオのツリーハウスは、ホストツリーの下のほうに高床式のウッドデッキを作り、このデッキに足場を設置してから作った。この高床式のデッキは、今も展望デッキや庭の休憩所として活用している。上のツリーハウスは、ホストツリーの幹に太くて長いボルトを2本通し、特注の鉄製アングルを幹に固定して根太を渡し、デッキ(床)を張り、その上に作った八角形の小屋だ。つまり、ホストツリーの上下に2段のデッキがある。

あれから8年。構造材にウエスタンレッドシダー、デッキの床材にサイプレス(オーストラリア・ヒノキ)を使っているためか、今もお、しっかりと

いる。

しかし、さすがに長い年月が経ち、2段のデッキは汚れが目立つようになってきた。その大きな要因は、経年変化に加え、落ち葉の付着による汚れだ。デッキに落ちた落ち葉に雨が降ると、落ち葉がピタッと張りつき、落ち葉の色素がデッキに付着する。これに鳥の糞や、虫の死骸やらが加わり、そろそろ手を入れないと急速に朽ちるかも。デッキ材のサイプレスは、まだ一度も塗装をしていない。今回はデッキ部分を総チェックし、塗装をすることにした。

塗装に先立って、まずやるべきはデッキの下地処理だ。これは水洗いとサンディングがポイントになる。地味な作業だが、ここで手を抜くと塗装の効果が半減するからだ。

水洗いは専用のデッキ洗浄剤を使うと効果的だ。今回は、掃除したあと全体を濡らしてから、手持ちのデッキ洗浄剤を使った。「ウッドリバイバー」といわれるジェル状の洗浄剤で、ハケで塗布したあと、20、30分ほど経ってからデッキブラシでゴシゴシこすって、デッキの表面の汚れを落とす。そのあと、高圧洗浄機で一筆に洗い流すと、経年変化でグレーになったデッキが本来の色を取り戻したようになった。ただし、黒ずんだ汚れはこれだけでは取れない。そこで電動サンダーの登場となる。60番くらいの粗めのペーパーで、デッキブラシでは取れなかった汚れを剥がしていく。面倒な作業だが、このあとの塗装の成否を決める重要な作業だ。サンディングすることで塗料が染み込みやすく、スムーズな塗装ができるのだ。デッキ洗浄剤、高圧洗浄機、電動サンダー。この3つがあるとデッキ塗装の下地処理は楽だ。

### デッキ塗装の下処理の手順

01 デッキを掃除する

02 水に濡らす。高圧洗浄機を使用

03 ハケでジェル状のデッキ洗浄剤を塗布

04 20~30分後、デッキブラシで汚れをしっかりとこすり落とす

05 高圧洗浄機で洗い流す

06 雑巾で拭き取る

07 すっきりきれいになった。これで48時間乾かす

08 サンダーでデッキをサンディング(ペーパーの番手は60番)。これで下地処理が終了



使用したウッドリバイバージェル(デッキ洗浄剤)





防腐防虫剤で塗装

塗装前の下地処理が終わった... 防腐防虫剤で、木材防腐剤として...



低臭&速乾! 長期にわたって木材を保護... 上がクリヤー、下がウォルナット。3.2kg容量で...

正しい塗装の基本

することもできるが、木材の保護効果を落とさず色を薄くする...



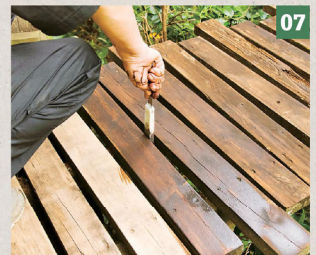
デッキ部は、コテバケを使うと早くスムーズ



開口部の枠もついでに塗装。ソフトウッドなので、しっかり浸透していく



塗料の缶はよく振ってからあけること。塗装の基本です



ツリーハウスに渡る橋の細かい部分は、先端が曲がるベンダーが便利



和信ペイントのスタッフも助手も参加。塗装は人数でワイワイやりながらやるのがおすすめです



ウォルナット色とクリヤー色を1対1に混ぜる。一斗缶などに入れ、棒などを使ってよく混ぜることがわかる



下段デッキの塗装。足場を考え、塗装を進めていく



ツリーハウスのデッキの奥から塗装スタート。デッキ材はハードウッド(サイプレス)だがそれでも浸透していく

枕木のアプローチもクレオパワーで塗装... 前々号の本連載で作った枕木のアプローチは、寄せ集めの枕木を使っているため... 枕木がリフレッシュして統一感が出た。防腐効果も高まった